

Funehiki High School News vol.58

デュアル実習調印式

今年度のデュアル実習調印式が4月17日(火)、本校会議室でとり行われました。式では田村市の富塚市長や実習企業・施設代表の藤倉航装株式会社管理部管理課の徳吉直人課長からあいさつをいただきました。

また、実習生を代表して3年3組の遠藤幸汰さん(船引南中出身)があいさつを行い、「希望進路の実現と地域社会に貢献できる人材になるために、それぞれの職場での体験を通して、勤労観や職業観を高めたい。」と抱負を述べました。

式の最後には、相良昌彦校長と有限会社慶慶飯店の片吉慶吉社長、実習生保護者代表の吉田眞裕美さんによる協定書への調印が行われました。

今年度のデュアル実習生は、2年生18人、3年生18人の計36人です。

2年生は毎週火曜日、3年生は毎週木曜日に各企業や施設でお世話になります。



調印式であいさつをする富塚市長



デュアルシステム協定書に調印する実習生保護者代表の吉田眞裕美さん



男子生徒注目の野球部



緊迫感のある剣道部の模範演技



室内競技の花形、バレエ部



日本文化部書道班とよさこい班のコラボレーション

部活動紹介

新入生が部活動を決める際の参考にしてもらう「部活動紹介」が、4月11日(水)午後、本校体育館で行われました。

それぞれの部が部活動の様子を紹介し、入部してもらおうと工夫を凝らした発表を行いました。

本校では近年、県大会に出場する部活動が増えており、たくさんの生徒が活躍を見せています。土日や祝日なども体育館やグラウンド、校舎などでにぎやかに活動しています。2、3年生も新年度になり、新入生の入部を心待ちにしていました。

5月の上旬にはインターハイの地区予選が始まります。どの部も県大会出場、さらには上位進出を目指して日々練習に励んでいます。船高生の活躍をぜひ応援してください。

被災住宅の修繕工事費を助成します

震災で、一部損壊の被害を受けた住宅の修繕工事費用の一部を助成し、市民の居住環境の復旧を図ります。助成を希望されるかたはお早めに手続きをお願いします。

- 対象住宅・・・次の要件を全て満たすこと
 - ①東日本大震災で被災した住宅
 - ②被災の程度が全壊、大規模半壊、半壊のいずれにも該当しない住宅で、り災証明書が一部損壊であること
 - ③被災日に住んでいた
- 対象者・・・次の要件を全て満たすこと
 - ①市内に住所登録している ②被災した住宅の所有者である ③市税を滞納していない
- 対象工事・・・屋根、壁、床、基礎などの修繕工事
 - ①対象工事費用が20万円以上(消費税を含む)
 - ②平成25年3月までに完了報告を提出できる
- 対象外・・・①門、塀その他の外構工事 ②備品の購入または交換
 - ③自分で修繕したもの ④店舗など(併用の場合は、自らの居住の用に供する部分は対象)
- 助成金額・・・対象工事費用の10分の1相当額
(限度額は10万円、1世帯あたり1回のみ交付)
- 必要書類・・・下表のとおり
- 申請期限・・・12月28日(金)(土・日、祝日を除く)
※6月は日曜日(3日、10日、17日、24日)も田村市役所1階第6会議室において申請を受け付けます。
- 申請・問い合わせ・・・建設部 都市計画課 ☎82-1114 各行政局 産業建設課
(申請書はホームページからダウンロードできます)

助成金交付の流れ

